

1. 4月全国行事

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1) 春の全国交通安全運動 | 4月6日～4月15日 |
| (春の交通安全キャンペーン 社内行事) | 4月1日～4月30日) |
| 2) 世界保健デー | 4月7日 |

2. 他社の事故・災害事例から : 現場を横切って走っていて転倒

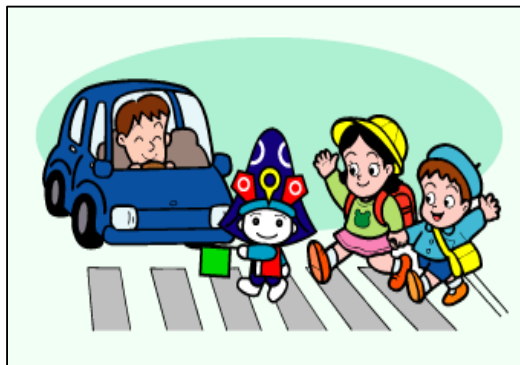
3. 今月のヒヤリハット

1. 4月全国行事

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 春の全国交通安全運動 | 4月6日～4月15日 |
|---------------|------------|

運動の基本

春の交通安全運動では、次代を担う子供のかげがいのない命を社会全体で交通事故から守ることが重要であるにもかかわらず、通学中の児童が死傷する交通事故が発生するなど、依然として道路において子供が危険にさらされていること、特にこの時期は新入学児童等に交通ルールや交通マナーを習得させる必要があること、また高齢者の交通事故死者数が、交通事故死者数全体の約半分を占め、その減少が強く求められていることから、これらの交通事故情勢に的確に対処するため、「子供と高齢者の交通事故防止」を運動の基本とする。



- | | |
|-----------|------|
| 2) 世界保健デー | 4月7日 |
|-----------|------|

2014年のテーマは「昆虫等媒介疾患」とし、蚊が媒介するマラリアなど、寄生虫や昆虫等による感染症を取り上げています。WHOによると、蚊が媒介する代表的な疾患であるマラリアによる死亡は、2010年に約66万人に上るとされており、そのうちのほとんどはアフリカの子供たちだったといえます。

一方、ここ数十年で発生率が増えているのが Dengue 熱で、熱帯や亜熱帯気候の地域にあたるアジアやラテンアメリカ諸国の子供たちに深刻な影響を与えることから、主要な公衆衛生上の懸念となっています。

2. 他社の事故・災害事例から : 現場を横切って走っていて転倒

＜災害のあらまし＞

一月の昼休み、作業員(男性20歳、勤続2年)が、職場から構内の食堂に走って向かう途中、指定の通路を通らず、作業場を横切って、床に散乱していた廃材を飛び越えた際、足を取られて転倒し、顔面打撲、前歯を3本折るなどのケガをしました。

＜災害の主な原因＞

- ①指定の通路を通らず、床に障害物等がある場所を走っていたこと。
- ②ポケットに手を入れていたため、転倒した際手で顔面を支えられなかったこと。
- ③職場では指定の通路を通らずショートカット（近道）が常態化していたこと、など。

＜同種災害の防止対策 例＞

- ①職場内の通行は指定された箇所を通ることを徹底する。職場では、特別のことが無い限り走らないことを習慣化する。
- ②ポケットに手を入れての歩行はしない。寒いときは手袋を着用する。
- ③日常の行動において、この事例のような「近道行為」（不安全行動）を行わないよう、注意・忠告し合うなどして、徹底を図る。

3. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「おれだけは ないと思うな事故過失 横着せずに自主点検」

事例	試験板を運搬中、足が躓き転んだ際、体に試験板が刺さると考えヒヤリとした。
どこで	実験室で。
あらまし	A4の試験板を脱脂後、板置きに整列させ、処理場まで運搬しているときに、足を躓き、転んだ際に、顔等に試験板が突き刺さると考えヒヤリとした。
原因	鋭利な試験板を手を持って運ぶ時、前もって足の躓き等を考慮しなかったこと。
教訓・対策	躓きによる転倒が予想される場合は、前方床面に注意すること。

事例	塗装のポンプを清掃中、洗浄シンナーが飛び出しヒヤッとした。
どこで	工場内で。
あらまし	塗装のポンプを清掃中、循環用ホースを繋ぐのを忘れて、ポンプを作動させたため、洗浄シンナーが飛び出してヒヤッとした。
原因	ポンプの清掃前にホースを繋いだかどうか、確認を怠ったこと。
教訓・対策	ポンプ等の洗浄は、ホースを確実に繋いでから、稼働させること。

4. その他

「分別一つで大違い みんなの努力で環境保全」 H25年度環境保全最優秀作品